



えごた

<http://nk-egota-e.a.la9.jp>

令和2年
10月号10月17日
江古田小学校
児童数 433名
TEL03-3385-0411

学校の教育目標◎かんがえる子ども○やさしい子ども○たくましい子ども(◎重点目標)
目指す学校の姿「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校」



「あゆみ」は未来への一歩

校長 松井 貴子

【学校では今】

寒さが次第につのり、そろそろ紅葉の季節を迎えます。西門近くでは芙蓉の花が咲き、校庭では、体育科学習発表会の準備が始まりました。

Google meetでの全校朝会も定番となってきました。集合の時間がかからないよさがある一方、話を聴く姿勢が崩れやすくなってきていることが心配です。

学びの基本の一つに傾聴を大切にすることがあります。ある児童が「人に見られる緊張感が自分の姿勢を引き締めしてくれる」と話していました。背筋を伸ばし維持することは適度の運動になります。オンライン活用での学び方でも、聴く姿勢は意識させていきたいと思えます。

先日2年生は哲学堂公園に生活科見学に行ってきました。グループでミッションに挑戦し「校長先生、Complete! しました。」と、ゴールに戻ってくる子どもたちの笑顔は輝いていました。そして自分や友達が見付けたものを報告してくれました。例えば、「ネイチャーゲームのお題「白いもの」を探そうでは、「空の雲」「蜘蛛の糸」「水が落ちるところ(しぶき)が白くなっていた。」と答えは様々でした。改めて子どもたちの気付きの多様さに大変感心しました。また、お弁当タイムでは、ソーシャル・ディスタンスを守り、適度の距離にシートを敷いて食べていました。ある子どもは自分のたまごサンドの卵を少し地面に並べ、アリが運ぶ様子を観察しており、とても和やかな気持ちになりました。身近な自然の中でたくさんの発見や関わりを学ぶ豊かな時間となりました。

【主体的に学習に取り組む態度を育む】

本年度は新学習指導要領の完全実施の年です。保護者会でも御説明させていただきましたが、「あゆみ」が変わりました。

新学習指導要領では、学校教育法で規定されている「学力の3要素」(1)知識・技能(2)思考力・判断力・表現力等(3)主体的に学習に取り組む態度について、全ての教育活動で「資質・能力の三つの柱」、(1)知識・技能(2)思考力・判断力・表現力等(3)学びに向かう力・人間性等を育成することを打ち出しています。

学習評価についても、従来は「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4観点を設定されました。しかし、学習指導要領の改訂に伴って、資質・能力に対応する形の3観点を整理することになりました。ただし「学びに向かう力・人間性等」には、感性や思いやりなど、個人の価値観を高めしていく側面があり、評価しづらい点があります。そこで「主体的に学習に取り組む態度」として評価しています。

主体的に学習に取り組む態度は、「粘り強く学習に取り組む態度」(粘り強さ)と、「自ら学習を調整しようとする態度」(自己調整力)の二つで評価します。

先日お渡しした前期のあゆみでは、「自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうか。」という意思的な側面をお伝えしました。短い秋休みではありましたが、各御家庭でお子様と振り返り、話をさせていただいたことと存じます。後期も一人ひとりの子どもが豊かな学びを積み重ねていけるように教職員一同力を尽くして参ります。御理解と御協力のほどよろしくお願い申し上げます。